

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	これまで同じグループホームの理念を共有していたが、事業所独自の理念が確立されていない。また、フロア目標を立てていない。	事業所独自の理念を作り、スタッフ間で共有する。また、各ユニットリーダーが中心となり、フロア目標を立てる。	スタッフミーティングで理念について話し合う。理念が確立されたら、各ユニットにてフロア目標を立てる。	1ヶ月
2	3	事業所として地域で必要とされる活動や役割を担う取り組みが少ない。	地域とのつながりを持ち、地域の一員として日常的に交流がもてる。	地域に出かけるだけでなく、地域の方が事業所に来てもらえるような取り組みをスタッフと考え、実施する。	12ヶ月
3	26	日々のサービス実施状況をサービス内容番号に連動させ、介護記録に#を入れて記録し、モニタリングを行ってはいるが、ADL、IADL等の3ヶ月間の変化がわかるようにはなっていない。	日々のサービス実施状況が確認でき、ADL、IADL等の3ヶ月間の変化(評価)がわかるようになり、アセスメント・計画・モニタリングに連動・整合性が確保できる仕組みを作る。	ADL、IADL等の3ヶ月間の変化がわかるような様式、介護記録を根拠にしたモニタリングの記録の様式の工夫を行う。また、本人、家族、訪問看護、往診医等の意見を聞き、カンファレンスやサービス担当者会議を開く。	6ヶ月
4	35	火災避難訓練を実施しているが、災害時の訓練はまだ行えていない。	訓練を繰り返し行うことで、避難経路や役割分担の再確認等を行う。また、計画通り備蓄スペースを確保し、保管する。	火災避難訓練と災害時の訓練を行うように年間計画に組み込み、訓練を実施したら事業所内で評価を行い、記録の閲覧にて全スタッフと訓練内容を共有する。また、近隣スタッフの連絡網を作成する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。